

素材を生かしたこだわりの商品 (株式会社銀座ミツバチ)

<法人の概要>

所在地：東京都中央区

設 立：平成 22 年 3 月

資本金：328 万円 売上高：2,100 万円（平成 26 年）
（うち農業：58 万円、うち農業関連事業：1,500 万円）

役 員：2 名（うち農作業従事 1 名）

従業員数：3 名、うち農業従事者 1 名

経営面積：0.4ha 営農作物：ソバ、大豆

農業開始時期：平成 22 年 5 月



大豆収穫風景

<農業参入に至った経緯・動機>

2006 年より銀座のビルの屋上で養蜂を始め、NPO として活動を行っていった。屋上での養蜂という珍しさから人が集まり、こだわりの農作物を作る生産者の助けになればと地域の生産者を銀座から応援するファームエイドというお祭りイベントを行うようになる。

それに参加する農業関係者との出会いが契機となり、活動の範囲を広げるべく、2010 年 3 月より株式会社銀座ミツバチを設立し、ファームエイドで御縁のあった福島市荒井地区に 50a の農地を借りることとなった。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

2010 年、荒井地域づくりの会（福島市）から土地の斡旋を受け、当初、東京から福島までは距離があるので、菜の花を植えて油を採る予定だったが、菜の花が咲くと受粉媒介となるミツバチ類がリンゴや桃の受粉に影響を与えるとの事で、ソバ、大豆を植えている。

＜営農開始から現在まで＞

営農開始当初はサツマイモやジャガイモ、トウモロコシ、枝豆なども作ったが、保存期間が短いため、保存のきく大豆、ソバの栽培へ絞っていった。

収穫した大豆は、福島県内の味噌業者の協力のもとで味噌造りを行い、販売している。また現在では、福島県内の企業と協力して柚子味噌の開発やソバから焼酎造りを行うなど、新たな商品作りに挑んでいる。

＜今後の農業経営の展開方向＞

現在、加工品に使用する大豆やイベントで使用するソバの栽培を行っている。今後も加工品用の原料として作物栽培を行っていく予定であるが、その時の状況により、生産量や生産作物の変更を柔軟に行っていく。

＜今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞

農産物を素材として販売するのではなく、技術で何かに加工して物語を込めて販売を行わないと物が動きにくい。物語のある商品づくりを行うことが販売促進につながるといえる。



味噌造り風景



ソバ打ちイベント